

紹介したい！ 香貫用水の歴史

香貫用水は内膳堀と呼ばれるメインの水路とそこから分岐する細かな水路から構成されています。

1620 年以前まで香貫地区の農業は降雨と溜池のみを水源としており、慢性的な水不足に悩まされていました。そこで、香貫に住んでいた植田内膳が狩野川から取水して用水路をつくる計画を立てました。

工事では取水のため、石堰を築いて低かった狩野川の水位を高めたり、砂土の用水路に水が染み込むのを防ぐため、地盤に灰を混ぜ合わせるなど、時には命の危機に瀕しながらも数々の試練を乗り越えて引水に成功しました。以後香貫地区では干ばつがなくなり、「香貫二千石」といわれた農業発展の礎となりました。

現在では、かんがい用水としてだけでなく、大雨時等の排水路として災害から地域を守る役割も果たす等、香貫用水は形を変えながら、今日まで約 390 年の間、地域において脈々と引き継がれています。

世界かんがい施設遺産 香貫用水 パネル展

香貫用水の世界かんがい施設遺産登録を記念して、施設の概要や用水路の変遷についてまとめた香貫用水のパネル展を開催します。

と き 11 月 21 日(月)～ 30 日(水)

ところ 市役所 1 階多目的スペース

☎農林農地課 ☎055-934-4752

秋の内膳堀ウォーク

香貫山の紅葉を眺めるなど、秋の訪れを感じながらぬまづ観光ボランティアガイドと内膳堀ウォークを楽しみませんか。

と き 11 月 26 日(土)、9 時～ 12 時(雨天中止)

受付 8 時 30 分～9 時に市民文化センター

コース 市民文化センター～内膳生誕碑～霊山寺～内膳堀通り～内膳堀跡碑～堰下公園～香貫用水取水場～市民文化センター

持ち物 飲み物、帽子

※当日、直接受付へどうぞ。

※公共交通機関でお越しください。

☎ぬまづ観光ボランティアガイド 前田さん

☎090-5859-9763

☎観光戦略課 ☎055-934-4747

直撃！
シリーズ！！

／祝！香貫用水が
世界かんがい施設遺産に
認定！！



この機会にぜひ、世界に認められた香貫用水を巡ってみるのはいかがでしょうか。
☎農林農地課
☎055-934-4752

Q 世界かんがい施設遺産とはどのようなものですか？
A 国際かんがい排水委員会（本部 ニューデリー）が、かんがいの歴史・発展を明らかにし、かんがい施設の適切な保全に資することを目的として、建設から 100 年以上経過し、かんがい農業の発展に貢献したもの、卓越した技術により建設されたもの等、歴史的・技術的・社会的価値のある施設を認定・登録する制度です。日本は世界で最も世界かんがい施設遺産の登録数が多い国であり、登録数は 47 となつて

Q かんがいとは？
A かんがいとは、河川や、地下水等から水を引き、水田などに人工的に給水して農耕を行うことです。